アガペ No.56

総主事
堤　弘雄

対話のある社会へ

JICA（国際協力機構）のプログラムで、2年間の予定でアフリカのセネガルの小さな村に昨年の1月に着任した息子からの第1報にはこのようなことが書かれていました。

「この村では、歩く時に人々はとにかくよくあいさつを交わします。家族は元気か？　平和に暮らしているか？　食事は済んだか？　などお互いにあいさつに長い時間を使います。言葉を話さなくても生きていける日本の暮らしでは考えられない豊かさがここにはあります。」

確かに日本の社会では、近所付き合いも希薄化しています。あいさつも“こんにちは”程度です。買い物に行かなくてもインターネットでショッピングもできるし、コンビニに行っても店員さんと言葉を交わす必要もありません。職場内外の人とはメールのやり取りで用件は事足ります。最近、新神戸まで新幹線に乗って出張に出かけました。その時、福岡から隣に乗り合わせた中年の男性と一言もあいさつも会話も交わすことなく時を過ごしてしまいました。飛行機でも同じようなことを何度も経験しました。お互いに関わり合いたくないという心理が働くからでしょうか。現代社会は対話のない社会だとよく言われますが、対話のない社会に馴らされてしまっている心の狭い自分自身がそこに座っていました。

マザーテレサは愛の反対は無関心だと言われました。お互いに関心を持ち、関わり合うこと、対話をして共感し合うことを私たちは忘れかけているのかもしれません。対話のある社会は人間同士が無関心を装うことをやめて、互いに関心を持ち合うことから始まるのかもしれません。人間の孤立化が進む現代社会において、人が心豊かに生きていくためには対話のある社会を再生させなければならないと思うのです。

世界を一周!? アラウンド・ザ・ワールド キャンプ

中央 みなみ 東部 ながみね むさし A&中

こどもえいごスクールの「アラウンド・ザ・ワールドキャンプ」が9月25日(土)～26日(日)に阿蘇YMCAで行われ、年長から小学6年生までの69名が参加しました。子どもたちがリーダーと一緒にパスポートを携え、熊本YMCAのキャラクター「ネスティ」と一緒に世界を巡る、というストーリーキャンプです。

ブラジルのダンスやアメリカのフラッグフットボールなど、世界各国の様々なアクティビティを楽しみながら、英語を学び、キャラクターディベロップメント（人格形成）の実践の場とすることも、このキャンプの特徴。一年ぶりの再会を喜ぶ姿や、知らない者同士でも、同じグループになって相手を思いやるような子どもたちの姿があちこちで見られました。

今回の目玉の一つ『スカイプ（インターネット電話）でアメリカの子どもたちとお話しよう！』では、「忍者はいるの？」「好きなアニメは？」など思い思いの会話で盛り上がりました。英語を使い、無事に〝世界一周〟から戻って来た子どもたちの顔は、出発式の時よりもひと回り成長して見えました。

木村百合香

豊かな人生経験を社会に役立てたい 第二の人生へ向け意欲的に学習中

東部

東部YMCAの教室に、質問の声が響きます。60歳を超えた方々の知識や経験、意欲と能力を社会に活かそうと、熊本YMCAが、熊本県シルバー人材センター連合会からの委託を受けて開講している授業です。今年度は、「ホームヘルパー2級」と、子育て支援に役立てるための「子育て・保育補助講習」を開講。ホームヘルパー2級では21日間の座学と実習、福祉施設で4日間の現地実習が行われます。実習では、〝みんなで考えてやってみる〟ことを大切に、グループワークで食事や入浴の介助、車いすの移乗や移動補助などを習得。即戦力となる知識と技術を備えることを目的としています。

上天草市から通う濱口智さんは、「動ける間は働きたい。施設への就職が決まったので、基本的な知識を得るのが目標。勉強を重ねて、これから同じ施設で働く人たちの気持ちも大切にしたいと感じています」とのこと。本田文子さんは、「70歳まで働きたいと、転職を考えて受講。親に対する介護が十分ではなかったという反省もありました。介護の世界は奥が深いですね。自分が受けたい介護のあり方も分かってきました」と笑顔です。

中には、講習を通して知り合った人たち同士で事業所を立ち上げたケースもあるとか。まだまだ社会の役に立ちたいという意欲を持ち、自分自身の将来の役にも立つと、授業中は皆さんが真剣な表情。新たな友人も得て、第二の人生に向けた学びを続けています。

全国のリーダーが集い研修会

YMCA

■開催日時／2010年10月9日(土)～11日(月・祝)
■開催場所／奈良県生駒市生駒山麓公園

全国各地のYMCAから114名のリーダーたちが奈良に集い研修を行いました。テーマは「リーダー力をみんなで磨こう！」。ワークショップなどを通して学び、リーダーに求められている力とは何か、そのために自分たちができることは何かディスカッションしました。熊本から参加した4名のリーダーは「全国の仲間たちと交流を深めることができた。学んだことは熊本で活かしていきます！」と、今後の抱負を語ってくれました。

体育英語幼児園運動会

中央 ながみね むさし

■開催日時／2010年10月17日(日)9時半～13時45分
■開催場所／中央YMCA体育館

中央・ながみねファミリー・むさしYMCA体育英語幼児園合同の運動会が「広げよう友だちと平和の〝わ〟」をテーマに開催。こりす（中央）・ラッコ（ながみね）・ペンギン（むさし）クラスの園児60名が、大勢の観客が見守る中、かけっこや玉入れなどの各プログラムに、時には家族一緒に取り組みました。また、応援発表では、各園で趣向を凝らした衣装やダンスで演技を競い、笑顔あふれる運動会となりました。

スポーツ　野外活動　語学　生涯学習　発達障がい支援　キリスト教　キャラクターディベロップメント　取り組み　行事

YMCA全体　中央YMCA　赤水幼稚園　尾ヶ石保育園